

授業一覧

◆ 1年次 必修科目

分類	科目名	内容	単位	
			前期	後期
通訳翻訳 必修科目	日●通訳翻訳 1 日●通訳翻訳 2	翻訳・通訳訓練を通じて言語や文化に対する理解を深め、双方向の通訳や翻訳に必要な幅広い語彙力と表現力を身につけていく。起点言語のコンテキストの内容を正しく理解し、理解した内容を正確に目標言語へ訳するための基礎的能力を育成する。(●=中または英)	3	3
	●日通訳翻訳 1 ●日通訳翻訳 2		4	4
	通訳基礎トレーニング 1 通訳基礎トレーニング 2	通訳や翻訳についての概論と各種の通訳訓練法について学び、実際に訓練を行う。日中クラス・日英クラスの学生が合同で授業を行う。	1	1
	通訳実践トレーニング	通訳訓練法を応用した日本語の音声訓練とパブリックスピーキングの訓練としての日本語劇の練習を行う。日中クラス・日英クラスの学生が合同で授業を行う。		2
	発音音声 1 発音音声 2	日本語発音の特徴について学び、練習を通じてより正確で自然な発音を身につける。	1	1
ビジネス系 必修科目	就職日本語 1 就職日本語 2	就職活動準備の一環として、必要な知識や日本語表現を身につける。	1	1
	ビジネス日本語 1 ビジネス日本語 2	ビジネス場面での基本的な知識・マナー・日本語表現を実践的に学ぶ。	2	2
	B J T 対策 1 B J T 対策 2	B J T (ビジネス日本語能力テスト) の J 1 レベル取得をめざす。ビジネス場面で使用する語彙・表現力の強化を行う。	1	1
日本語系 必修科目	文型 1 文型 2	既習文法の意味・接続・用法を正しく理解し、定着させる。正確に使用できる運用能力を高める。	1	1
	ライティング 1 ライティング 2	簡潔で伝わりやすい文章を書けるようにする。様々な種類、構成の文書が作成できるようにする。	1	1
	会話	自分の伝えたいことや気持ちを細部にわたって適切に日本語で表現できるようにする。	2	
	プレゼンテーション 1 プレゼンテーション 2	日本語で聞き手にわかりやすく発表するにはどうすればよいか、理論を踏まえ実践する。テーマ別にグループや個人発表を行う。	2	2
外国語 必修科目	英語 C 3 英語 C 4	簡単な日常会話のやり取りができるように、英会話力の強化を目指す。	2	2
	英語 A E C 1 英語 A E C 2	上級レベルでのコミュニケーション能力の向上に取り組む。		

## ◆2年次 必修科目

分類	科目名	内容	単位	
			前期	後期
通訳翻訳 必修科目	日●通訳翻訳3 日●通訳翻訳4	基礎的な内容から徐々にレベルアップさせ、専門的な内容の実務通訳と実務翻訳に関する訓練を行う。合わせて、実際の業務における準備段階から実践段階までに関する実用的なスキルの育成を行う。  (●=中または英)	3	3
	●日通訳翻訳3 ●日通訳翻訳4		6	6
	通訳翻訳総合1 通訳翻訳総合2	通訳や翻訳に関する多様なスキルを養成する。業界標準ソフトを用いた字幕翻訳制作を行うほか、通訳スキルアップのための日本語劇の練習、通訳機材を用いた同時通訳訓練や講演会形式での演習を行う。	3	3
	発音音声3 発音音声4	日本語音声の正確な聞き取りや発音能力の伸長を図る。また、通訳者としての能力（音声の正確な聞き取り・音声の保持・理解しやすい発音）の向上も目指す。	1	1
ビジネス系 必修科目	ビジネスメール1 ビジネスメール2	ビジネス場面に必須の日本語での文書作成能力を育成する。日常的によく使うビジネスメールを中心に行う。	1	1
	ビジネス会話1 ビジネス会話2	ビジネス場面における実践的な日本語会話能力を養う。場面に合わせた語彙・表現を学んで会話の流れの中で適切に運用し、また実際の場面で応用できることを目指す。	2	2
日本語系 必修科目	語彙表現	上級者としてふさわしい語彙・表現の語感を捉えることができる適切かつ正確な運用能力を養う。	1	
	上級文法	化石化している間違いをできるだけ修正し、正確に使用できる運用能力を養う。	1	
	語彙表現応用・ 上級文法応用	語彙・表現の細やかなニュアンスを理解し、実践的な運用能力を高める。		1
	対話トレーニング	既習の表現・文法・語彙を使用し、どんな話題であっても対話に参加できるよう対話能力を養う。	1	
	実践対話	話し手や聞き手として会話に積極的に参加しながら、談話能力を高める。		2
外国語 必修科目	英語C5 英語C6	ビジネス場面で必要な初級会話、自分の意見を英語で表現できることを目指す。	2	2
	英語AEC3 英語AEC4	ビジネスシーンでのコミュニケーション力、必要な英語技能を習得する。		

## ◆1・2年次 前期共通

(※2年生のみ取得可能)

分類	科目名	内容	単位	
			前期	後期
日本語系 必修選択科目	読解 1	多様な文章、多様なトピックに触れ、読解の苦手意識をなくす。	2	
	時事基礎	日本社会のシステムをより深く理解し、日本語で意見交換する力や自国の社会システムについても説明できる能力を身につける。	2	
	地理	地理の学習を通じて、日本の各地域についての理解を深める。また、各地域の抱える問題や、その背景についても授業で取り上げる。	2	
	教養 I T 基礎	学校での課題やこれからの就職に向け、よく使われるワード、エクセル、パワーポイントの3つを中心に基礎的な知識やスキルを習得する。	2	
	日本学	日本人の思考や日本社会の慣例などを理解して、将来社会に出た後から遭遇する様々な場面での対応力を養う。	2	
	描写	見た物や状況を正確に詳しく、そしてより自然で豊かな語彙や表現を使って描写する力をつける。	2	
	古典文学入門 1	奈良時代から鎌倉時代までの代表的な日本の古典文学に触れ、古典文学に関する基礎的な知識（歴史的背景、文化、生活様式など）を学ぶ。	2	
	※英日文芸翻訳 1 中日文芸翻訳 1	これまで学んできたスキルや知識を活かし、中文・英文の作品を分かりやすくかつ自然な日本語に翻訳してまとめる。	2	
	↑ 上記科目から4単位選択			

## ◆1・2年次 後期共通

(※2年生のみ取得可能)

分類	科目名	内容	単位	
			前期	後期
日本語系 必修選択科目	読解 2	多様な文章からすばやく必要な情報を見つけ、正確に把握する力をつける。理解したことを自分の言葉で説明できるようにする。		2
	時事	世の中で起きている社会的な出来事（時事）について関心を持ち、より深く理解して、日本語で意見交換する力や説明ができる能力を身につける。		2
	歴史	縄文時代から順を追って、日本の歴史の流れを学習していく。学習を通じて、現在の日本の姿について理解を深める。		2
	教養 I T 応用	一般事務に必要となるパソコンスキルの向上を図る。制限時間内で指示に従い、的確な内容のレポートやデータなど様々な資料を自分で工夫し、作成する。		2
	経済の日本語	お金や経済に関する基礎的な知識を学ぶ。学んだ知識を活かし、経済関連の記事や映像を理解し、知識と実社会を結びつける。		2
	日本事情	日本の文化（伝統文化やポップカルチャーなど）について理解を深める。また、関連する語彙等を学び、意見や感想を日本語で表現する力も身につける。		2
	東アジア近現代史	日本及び東アジア圏で通訳翻訳をはじめとする業務を行う際に役立つと思われる、アジアの近現代史に関する背景知識や教養を学ぶ。		2
	古典文学入門 2	鎌倉時代から江戸時代までの代表的な日本の古典文学に触れ、古典文学に関する基礎的な知識（歴史的背景、文化、生活様式など）を学ぶ。		2
	※英日芸芸翻訳 2	教師が選定した作品を十分読み込み、作家の意図を把握したうえで、原文を自然で的確な日本語に翻訳する。		2
↑ 上記科目から4単選択				

## ◆1・2年次 共通

自由選択科目	N 1 文法・語彙	日本語能力試験N1受験者を対象にした文法・語彙クラス。	1	1
	N 1 読解	日本語能力試験N1受験者を対象にした読解クラス。	1	
	N 1 聴解	日本語能力試験N1受験者を対象にした聴解クラス。	1	
	N 1 聴解・読解	日本語能力試験N1受験者を対象にした聴解・読解クラス。		1
	T O E I C 試験対策	対策問題を解くことにより、形式に慣れながら英語力を向上させる。	1	1
	中国語入門 1・2	中国語（普通話・Mandarin Chinese）の発音、基礎文法、基礎会話を学ぶ。	1	1
	中国語基礎 1・2	イメージと音声を直接結びつける方法により、中国語のリスニングとスピーキングの力を伸ばす。	1	1
	韓国語入門 1・2	基本文型や様々な単語を学びながら、簡単な日常会話ができるように会話表現の練習と短文の読み書きを重ねていく。	1	1
	韓国語基礎 1・2	韓国語でのコミュニケーション能力を高めていく。言葉だけではなく、韓国の文化なども随時紹介し、日本文化やお互いの文化と比較してみる。	1	1
	語彙	様々な語彙問題に取り組み、自身の語彙力を確認・強化し運用できるようにする。	1	1
	日本語検定対策	日本語検定の対策問題を解きながら日本語総復習を行う。4級～2級の敬語・表記・漢字・語彙・文法・言葉の意味・総合問題を扱う。		1
時事検定対策	「ニュース時事能力検定試験」の3級取得を目指す。また、社会人基礎力につながる課題を発見したり、状況を把握したりする力の育成も図る。		1	

## ◆1・2年次 共通

特別科目	卒業研究 1 卒業研究 2	これまで学んできたスキルや知識を活かし、英文または中文の作品を分かりやすくかつ自然な日本語に翻訳してまとめる。教師指定の部分を翻訳して提出。（文芸翻訳履修者に限る）	1	1
	通訳演習	観光地や博物館など、現地に出向いて通訳を実践する。またパナガイドや同時通訳ブースを用いた、特別講演会形式での同時通訳実習を行う。	1～3	
	日本文化体験	日本の伝統文化に対する理解を深める。事前授業を通じて歴史、内容などを理解した上、能楽、歌舞伎、和食マナーなど体験する。（年度によって異なる）	1	
	文化祭（日本語劇上演）	学園の文化祭の期間に日本語劇を公開上演する。通訳者に不可欠なパブリックスピーキング能力や、生き生きとした日本語の表現力を磨く。		3
	その他学校行事	研修旅行、就職ガイダンス、華道や和装体験など	1～2	1～2